

一般社団法人日本行動分析学会 2022 年度事業報告

総務委員会

1. ホームページの管理・運営
 - ・学会ホームページの管理・運営を行った。
2. 会員メール配信システムの運用
 - ・2018 年度に開始したシステムを運用した。クラウドサービスを利用した。
3. 理事会クラウドストレージの検討
 - ・理事会クラウドストレージについて検討した（継続）。
4. 学会業務運営（理事会、総会等）
 - ・理事会（6 回開催）と社員総会（1 回）を開催した。

法務委員会

1. 定款、細則等の規則の整備
 - ・細則第 5 条（代議員選挙のインターネット上での実施を可能とするための変更）、細則第 6 条（インターネット上の開票に関する変更）の改正を実施した。
2. 倫理委員会
 - ・臨床活動に暴力行為を用いることに反対する声明文（案）を作成し、理事会にて審議がなされた。
 - ・個人情報保護規程の改正を検討し、現行のままとすることとした。
3. 選挙管理委員会
 - ・第 1 回選挙管理委員会（2022 年 12 月 3 日）に実施し、島田委員長を選出した。また、代議員選挙に向けた流れの確認と準備等を行った。
 - ・代議員選挙の告示（2023 年 1 月 10 日）を実施した。
 - ・代議員選挙の立候補届の受理及び確認を行い、23 名の立候補のため、無投票当選を確定した（2023 年 2 月 01 日）。
 - ・代議員選挙の当選者 23 名から就任承諾書を受領し、次期の代議員が確定した（2023 年 2 月 11 日）。
 - ・次回の社員総会における役員選挙（理事・監事）及び理事長選挙に向けた準備を行った。

財務委員会

1. 収支予算（案）および決算（案）の作成を行った。
2. 学会の財務状況の点検、並びに必要な改善を検討した。
3. 「研究会開催助成事業」および「自主公開講座助成事業」を行った。
2022 年度は自主公開講座に関して 2 件助成を行った。

渉外委員会

1. ABAI の支部として J-ABA 事業報告／事業計画書（2022 年度分）を提出した。
2. 2022 年 5 月に開催された ABAI 年次大会（オンライン）の ABAI Expo で J-ABA の活動を紹介するポスターを展示した。
3. 日本在住学生会員 ABAI/SQAB 参加助成事業について、2023 年度の助成事業の募集を J-ABA

ニューズレターと ML で通知した（2023 年 3 月 31 日締め切り）。

4. J-ABA ニューズレター（年 4 回）を発行した。
5. 「日本行動分析学会若手会」の運営の援助を行った。ポスター発表形式となった若手研究者優秀発表賞に関わる運営に取り組んだ。
6. Diversity Policy に関する ABAI の方向性について情報収集を行った。

企画委員会

1. 年次大会支援事業
 - ・ 2022 年度年次大会（福岡県立大学：麦島 剛委員長）の支援および、学会企画シンポジウム（学会創立 40 年記念シンポジウム）を実施した。
 - ・ 2023 年度年次大会（立命館大学：中鹿直樹委員長）の開催に関して、大会委員長と連絡調整を行った。
 - ・ 2024 年度以降の大会委員長候補者に打診を行った。
2. 研究教育推進事業
 - ・ 年次大会以外での研究会・シンポジウム等の募集と実施については以下の通りである。
 - 緊急公開講座 第 1～3 弾（2022 年 7 月 31 日、8 月 27 日、9 月 4 日：オンライン配信）
 - ワークショップの協賛 2 件（2023 年 1 月 9 日、3 月 21 日：オンライン配信）
 - ・ 学会賞（論文賞）の選考作業を行った（該当者については 2023 年 3 月 11 日の理事会時に決定）。
 - ・ 春（冬）の学校の開催について検討したが、本年度は実施しないこととした。

編集委員会

1. 機関誌『行動分析学研究』の発行
 - ・ 第 37 巻第 1 号を 2022 年 12 月 7 日発行（同第 2 号は 2023 年 4 月発行予定）
2. 出版企画
 - ・ 『ことばと行動』復刻版の出版準備

理事会全体に関する事業報告

1. 事典編纂（用語検討を含む）企画
 - ・ 事典編纂委員会を開催し、今後の進め方について意見交換を行った。
2. 学会創立 40 年記念行事
 - ・ 2023 年度実施に向けた準備を行い、一部の企画を年次大会で行った。